



関屋小だより

校長 佐藤 幸代

健康で明るい子 進んで行動できる子 よく考える子

読書の秋いろいろな本と出会おう

運動会も終わり、爽やかな風が吹く秋らしい気候になってきました。「爽やか（さわやか）」は秋の季語。この季節を心豊かに楽しみたいものです。秋は「馬こゆる秋（食欲の秋）」「実りの秋」など色々な言葉で表現されますが、関屋っ子のみなさんは是非「読書の秋」にしてほしいと思います。昨日10月27日から11月9日までは読書週間。また27日は「文字・活字文化の日」と定められています。私は、読書が大好きなのですが、なぜ好きなのか考えてみると、読書することで旅をしているような気持ちを味わえたり、違う人の人生を体験するような気持ちになれたりするからだと思います。

小学生のときに何気なく読み始めて止まらなくなり、一気に読んでしまったのは「アンネの日記」という本でした。ユダヤ人というだけで迫害を受け、隠れ家に住みながら日記を書いていた少女アンネ。アンネが収容所で亡くなつてから約1か月後に戦争が終り、アンネのお父さんも解放されたと知り、「あと少し生きていらしたらお父さんと再会できたのに。」と涙がとまりませんでした。いつか、オランダにあるアンネの隠れ家や、アウシュビッツのユダヤ人収容所跡に行き、平和について考えたいと思っています。

もう一つ忘れられない本は「赤毛のアン」です。この本とは高校生のときに出会い、夢中になって読みました。親のいない孤児である11歳の少女アンが、マシュー、マリラ兄妹に預けられてから、すてきな大人に成長するまでの物語です。アンは学校の先生になるのですが、この本との出会いが教師になるという人生に影響したかもしれません。舞台となったプリンスエドワード島にはいつか必ず行きたいと思っています。ほかにもまだまだ人生に影響を与えてくれた本があります。夢中になって読みたい本と出会えるというのは幸せなことだと思います。

是非、みなさんのおすすめの本も教えてくださいね。

実りの秋 稲刈りをしました

関屋小学校の中庭の学年畠や水田も実りの季節を迎えました。5年生が植えたお米が立派に育ち、稲刈りをしました。毎年お世話になっている、地域コミュニティの皆様のご指導のもと、楽しく稲刈り体験をしました。今年は例年以上に稻の生育がよく、びっしりつまつたお米が収穫できました。このあと「二十日干し」といって、吊るして乾かした後、もみすりを行い、玄米にする過程を学習する予定です。できたお米をどのようにいただとか、楽しみですね！



一輪車の練習台が完成しました！

北館校舎の改修のために設置が遅れていた、一輪車の練習台の設置工事が完了しました。この一輪車練習台は、昨年の卒業生の記念品としてPTAから寄贈していただいたものです。早速たくさん的人が一輪車の練習に使ってくれています。この一輪車練習台は、なんと、雨でもさびないステンレス製の特注品です。関屋鋼業株式会社様が、関屋小学校のために特別に作成してくださいました。末永く、大切に使っていきましょう。

